

職業人として目指したい方向性

	到達目標	実践したい内容	実践に必要なこと	その他
療法士 1~3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・病院・部署内のルールに従って仕事ができる ・職業人としてのルールやマナーを学び実践できる ・報告・連絡・相談ができる ・基本的な一連の診療業務ができる ・他の療法士と連携できる ・患者を通して他部署との情報交換ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談をする ・身だしなみや基本的な接遇ができる ・基本的な診療業務が安全にできる ・基本的な関連事務作業がもれなくできる ・カンファレンスへの参加や発言ができる ・患者に関連した情報交換ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・上司や先輩とのコミュニケーション ・他のスタッフとの人間関係の構築 ・部署の一員として動く意識づけ ・研修会への参加 ・就業規則や院内のルールを知る ・委員会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・文献や書籍、研修などで知識・技術の向上を図る ・協会内での症例報告 ・院内外での発表
療法士 4~6 年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な診療がもれなくできる ・報告・連絡・相談ができる ・全診療科からの処方に対して担当者として診療できる ・他部署と情報交換・連携ができる ・委員会活動に積極的に参加できる ・問題提起ができる ・部署内で積極的に話し合える 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談をする ・他部署と情報交換しながら診療ができる ・様々な治療方法の実践ができる ・カンファレンス内で発言ができる ・入退院支援に積極的にかかわる ・部署内で問題提起ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のスタッフとの人間関係の構築 ・部署の一員として動く自覚をもつ ・研修会への参加 ・委員会への参加 ・各種制度・法令を知る ・院外の関連職種と連携する ・意見し話し合える環境を心がける 	<ul style="list-style-type: none"> ・文献や書籍、研修などで知識・技術の向上を図る ・認定資格等の取得 ・協会内での症例報告 ・院内外での発表
療法士 7~9 年	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談ができる ・専門職として進みたい方向性を見つけ、自己研鑽できる ・部署が目指す方向性に同調し協力できる ・学生指導ができる ・新入職員に対する指導ができる ・院内外への情報発信ができる ・問題提起ができる ・問題解決に協力ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談をする ・様々な治療方法の実践ができる ・より専門的な技術を身につけ実践できる ・専門職として情報発信ができる ・教育的な視点を持ち診療・その他の業務ができる ・入退院支援に積極的にかかわる ・部署内外で問題提起ができる ・問題解決にむけて意見ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のスタッフとの人間関係の構築 ・部署の一員として動く自覚をもつ ・委員会への積極的な参加 ・各種制度・法令を知る ・院外の関連職種と連携する ・意見し話し合える環境を心がける 	<ul style="list-style-type: none"> ・文献や書籍、研修などで知識・技術の向上を図る ・認定資格等の取得 ・院内外での発表
療法士 10 年～	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談ができる ・専門職として進みたい方向性を見つけ、自己研鑽できる ・部署が目指す方向性に同調し協力できる ・学生指導ができる ・新入職員に対する指導ができる ・院内外への情報発信ができる ・問題提起ができる ・問題解決に積極的に意見し協力ができる ・部署内の管理業務を一部担当する 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談をする ・様々な治療方法の実践ができる ・より専門的な技術を身につけ実践できる ・専門職として情報発信ができる ・教育的な視点を持ち診療・その他の業務ができる ・入退院支援に積極的にかかわる ・部署内外で問題提起ができる ・問題解決にむけて積極的に意見ができる ・部署管理業務の一部を担当し遂行できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のスタッフとの人間関係の構築 ・管理運営の一員として動く自覚をもつ ・委員会への積極的な参加 ・各種制度・法令を知る ・院外の関連職種と連携する ・意見し話し合える環境を心がける 	<ul style="list-style-type: none"> ・文献や書籍、研修などで知識・技術の向上を図る ・認定資格等の取得 ・院内外での発表